

クロザリル患者モニタリングサービスにご登録された医療関係者のための情報誌

CPMS

ニュース

発行：ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

Vol. **67**
2026
Summer



Contents

センターインフォメーション

- ・患者さんの転院時の転院元と転院先の対応について
- ・秋の連休における血液検査実施と報告について
- ・CPMS登録保険薬局での院外処方箋応需の資料掲載場所について
- ・クロザリル・デジタルコミュニケーターについて

クロザリル適正使用委員会 事務局インフォメーション

- ・CPMS運用手順を改訂いたしました

ご注意ください

- ・CPMS規定不遵守例

センターインフォメーション

患者さんの転院時の転院元と転院先の対応について

患者さんが合併症や他の疾患等で他院での治療を要する場合等には転院の手続きをしていただく必要があります。転院時の転院元・転院先の対応等をCPMSセンター ホームページの[eCPMS FAQ](#)より抜粋しましたので、今一度ご確認をお願いいたします。

Q：患者さんの転院の手順について、転院元と転院先での手続きに違いはありますか

A：患者さんの転院が決まった場合、下記の手順で手続きを行います。詳しい説明やeCPMSの操作方法は、「転院の手順」([eCPMS 操作説明資料<<転院の手順>> 1.3版](#))をダウンロードしてご参照ください。

転院元医療機関

- (1) 転院先医療機関に患者情報を伝達し、転院先医療機関への来院日（検査日）を、規定の検査間隔内になるよう調整し決定する。
- (2) 最後の来院日（検査日）に、eCPMSにて転院の報告を行う（処方日数は転院先医療機関への来院日（検査日）までの日数）。

転院先医療機関

- (3) 転院先医療機関で文書による**同意取得**を行い、eCPMSにて患者登録を行う。
- (4) 次回検査期限までに血液検査を行い、eCPMSにて報告する。

Q：患者さんが急遽転院することになり、当院での検査はしない場合にはどのように転院報告をすればいいですか

A：検査値（血球・血糖ともに）、検査実施日および今回の投与日または投与開始日をすべて空欄にいただき転院報告をお願いいたします。

なお、「検査実施日」および「今回の投与日または投与開始日」については当日の日付がシステム上自動で入力されていますので、お手数ですが、プルダウンにて手修正をしてください。

Q：CPMSセンターの営業時間外に急遽転院となった患者さんがいる場合、営業時間外で患者番号が発番できないため報告書が送信できず、処方ができないと思います。持参薬がもうない場合はどうすればいいですか

A：患者登録が前提となりますが、次回検査期限までに不足している分については、転院元での検査結果をご確認いただいた上で、患者番号発番前に転院先で処方いただいて問題ありません。

患者番号の発番についてはCPMSセンター営業時間内に改めてご連絡をお願いいたします。

Q：クロザリル服薬中に他院に入院した場合の血液検査・報告とクロザリル処方はどうすればいいですか

A-1：クロザリルの投与を継続する場合

クロザリルを服薬中に、合併症や他の疾患等で他の医療機関（CPMS登録の有無に関わらず）へ入院した場合でも、クロザリルの投与を継続することは可能です。ただし、CPMS規定通りの血液検査と報告が必要となりますので、そのような場合は、以下の手順で検査の報告と処方を行ってください。

1. 他の医療機関への入院中、規定の検査日に患者さんがクロザリルの処方元の医療機関へ来院することができない場合は、入院先の医療機関で血液検査を行っていただきます。
2. 処方元医療機関は、その血液検査結果を検査日当日中に入手し、通常通りに、検査日当日中にeCPMSにて検査報告を行います（念のため、検査報告の際はコメント欄に状況をご記入ください）。血液検査結果に問題がなく、クロザリルの投与を継続する場合は、通常通り次回検査日までの日数分の処方が可能となります。
3. 患者さんご本人が処方元医療機関にてクロザリルを受け取ることが困難な場合、もしくはクロザリルが処方された院外処方箋を受け取ることが困難な場合は、患者さんのご家族など代理の方が受け取ることは可能です（クロザリルの払い出しは検査当日でなくても構いません）。

以上1～3を、入院期間中、規定の検査日ごとに行います。

【注意】

1. 入院先の医療機関がCPMS登録医療機関の場合は、必要に応じて（例えば入院が長期にわたる場合など、患者さんごとの状況によりご判断ください）eCPMSで「転院」の手続きを行っていただくことで、入院先の医療機関でeCPMSへの検査報告とクロザリル処方を行うことができます。治療が終わり、再度元の医療機関でクロザリルの処方を受ける場合は、再度「転院」の手続きが必要です。
2. 短期入院の場合で、入院期間中に規定の検査日がなく次回検査期限までに退院して元の医療機関へ戻られる場合は、特にeCPMSでの報告は必要ありませんが、次回の検査報告時にコメント欄に入院の情報をご記入ください。
3. これは緊急時の対応であり、通常は、CPMS登録医療機関に転院せずに、CPMSに登録されていない医療機関を受診している患者さんに対し、上記の方法でクロザリルを処方・払い出すことはできません。

A-2: クロザリルを休薬する場合

他の医療機関へ入院中、クロザリルを休薬する場合でも、CPMS 規定通りの血液検査と報告が必要となりますので、そのような場合は以下の方法で検査の報告を行ってください。

1. 入院先の医療機関から血液検査結果を入手できる場合は、通常通りに、検査日当日中にeCPMSにて検査報告を行ってください。「クロザリル処方」は「有害事象のため休薬」を選んでコメント欄に状況をご記入ください。
2. 入院先の医療機関から血液検査結果を入手できない場合は、検査期限日に、「クロザリル処方」の「その他理由による休薬」を選んでコメント欄に状況をご記入ください。

【注意】

1. 休薬が2日以上の場合、投与の再開は12.5mg/日からの開始になります（増量はCPMS登録医の判断になりますが、新規患者さんと同様に緩やかな増量を推奨します）。
2. 休薬が4週間を過ぎると、「クロザリル処方」は「検査終了」を選んで報告していただく必要があります。再度クロザリルを服薬する場合は、再登録が必要となります。

Q: 身体疾患などでクロザリルを処方できない医療機関へ転院となりました。この場合、投与は継続できますか

A: 投与の継続は可能です。詳しくはCPMSセンターのWeb siteにFAQとして「[クロザリル服薬中に他院に入院した場合の血液検査・報告とクロザリル処方](#)は？」を掲載していますのでご参照ください。

また、上記サイトには休薬をする場合の対応についても記載されていますのでご参照ください。

Q: 検査終了または転院となった患者さんを表示させるにはどうすればいいですか

A: 患者一覧画面を開くと、検査終了または転院となった患者さんは表示されないよう、「検査終了患者・転院患者以外を表示」のチェックボックスにチェックが入っています。検査終了または転院となった患者さんも表示する場合は、以下の操作を行ってください。

1. 「検査終了患者・転院患者以外を表示」のチェックをはずします（下記画像の1）
2. 「検索」ボタンをクリックして、検査終了または転院となった患者さんも一覧に表示させます（下記画像の2）
3. 検査終了または転院となった患者さんも含めて一覧として出力する場合は、1.2.の後に「患者一覧出力」ボタンをクリックします（下記画像の3）

CPMS 患者一覧

報告書名: クロザリル患者モニタリング | 施設名: CPMS病院 | 施設登録番号: 0019

以下項目を指定し、「検索」を押してください。症例患者の一覧が表示されます。

1. ☒ 検査終了患者・転院患者以外を表示 ☐ 転院(転入)患者を表示

2. ☐ 本日が期限の患者 ☐ 本日が検査予定日の患者 ☐ 本日、二次承認が完了した患者 ☐ 遅延 (一次承認済の患者(再調査以外)) ☐ 一次承認未完了の患者(再調査以外) 一次、二次承認者名: _____

クロザリル処方: _____ 性別: _____ 生年月日: _____ 血液型: _____ イニシャル: _____ 並び: [患者登録番号] 昇順

3. 表示件数: 10件 50件 100件

患者登録番号をクリックすると報告書一覧画面が表示されます。 26件中 1-10 件目: 1- 11- 21-

No.	選択	患者登録番号	インジカ 性別	患者名等	生年月日 血液型	クロザリル処方	血糖・ HbA1c 検査頻度	変更後の 検査間隔	血糖 検査期限	HbA1c 検査期限	患者の 状態	前回の 白血球数	前回の 好中球数	白血球・好中球 検査期限	次回検査予定日	一次承認	過去3回報告書	転院前 患者登録番号	旧登録番号
1	☐	0019-001	TP 女	テスト 患者名	1990/09/03 A	継続または投与開始	A		2014/05/23	2014/05/23	グリーン (開通)	8000	4000	2014/03/06 4471日 経過	2014/03/06		2014/03/06 2014/03/06 2014/01/28		
			TP		1990/09/03									4418日			2014/04/14		

26件中 1-10 件目: 1- 11- 21-

3.

検査値推移グラフを表示するには、Excel(*.xls)がインストールされている必要があります。また、日報状況によりグラフ表示に時間がかかる可能性があります。

※ Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

秋の連休における血液検査実施と報告について

少し早いご連絡となりますが、**2026年の秋の連休は、最大5連休**(9月19日(土)～9月23日(水))になる医療機関もあると思われます。連休になる場合の血液検査の実施と報告について、以下に注意点を述べさせていただきます。

血液検査はCPMSの基準に応じて実施していただくことになっておりますが、**長期休業時におきましてもCPMSの基準に応じた血液検査を行っていただく必要があります**(※1)。大変お手数ではございますが、必要に応じて事前に検査日の確認を行っていただき、通常通りの検査と報告をお願いいたします。

なお、**条件を満たしている場合に限り、定められた日までに「CPMS 検査日変更に関する事前報告書」をCPMSセンターにWeb申請またはFAX送信いただくことで、検査日を変更(血液検査期限日+1日)することができます**(※2)。

※1 第27回クロザリル適正使用委員会(2015年9月16日開催)において、医療機関や医療現場の状況とご要望を考慮して、年末・年始などの長期休業時の血液検査実施の間隔を医療従事者の判断に委ねることに関して改めて審議が行われました。審議の結果、「医療現場のご負担は十分理解できますが、添付文書を逸脱することになるような状況を委員会として容認することはありません」との見解が、満場一致で確認されました。

※2 第15回クロザリル適正使用委員会(2012年9月25日開催)での承認および規制当局の了解を得て運用が開始されました。

CPMSセンターWeb siteから、検査日を変更できる条件および手順の詳細、また、クロザリル適正使用委員会からの指示内容の抜粋は[CPMSニュース Vol.66 Spring号](#)で詳細を掲載しておりますので、改めてご確認をお願いいたします。

CPMS登録保険薬局での院外処方箋応需の資料掲載場所について

処方箋応需後の手順は、CPMSセンターのホームページをご確認ください。

「**CPMSセンターホームページ**」([CPMSセンター | Novartis](#)) → 「**サポート資材**」([サポート資材 | Novartis](#)) → 「**ダウンロードできる資材**」の一番下に「**CPMS登録保険薬局でのクロザリル院外処方箋応需の手順**」([院外処方箋応需の手順 | Novartis](#))が掲載されておりますので、ご確認ください。

クロザリル・デジタルコミュニケーターについて

クロザリル・デジタルコミュニケーター（DC）の業務について簡単にご紹介いたします。

DCは、クロザリル治療やCPMSセンター担当業務*以外のCPMS運用についての多様なご質問に即応（電話・メールまたはオンライン会議システム：Teamsにて）するための総合窓口です。

- ▶ CPMS登録内容に変更が発生したので、変更届を出したい
- ▶ 反応性不良の基準など、クロザリルの適応になる患者さんかどうかを知りたい
- ▶ 患者さんへの説明資材がほしい
- ▶ 患者登録にはどんな準備をすればよいか
- ▶ 切り替え方法や、併用薬について確かめたい
- ▶ 副作用の頻度や対処法を知りたい など

上記の例以外にも、オンラインでの院内勉強会やWeb講演会の企画・運営などを行っておりますので、お気軽にご連絡ください。

DCの連絡先

電 話：0800-222-8814

メール：clozaril.remote@novartis.com

業務時間：月～金 9:00～17:30（土・日、祝日および弊社休日を除く）

※ eCPMSのID/パスワード・操作・入力方法、二次承認後の差戻し、患者再登録時のCPMS患者登録番号の発番、血液・血糖モニタリングの実施基準等に関する問い合わせは、CPMSセンター（0120-977-327）へ直接ご連絡ください。

DCを含む詳しいお問い合わせ先については[こちら](#)を参照ください。

クロザリルおよびCPMS 関連 Web site 一覧

便利な Web site の URL 一覧です。ご活用ください。また、ブラウザの「お気に入り」に登録すると簡単に閲覧ができます。

※2022年12月20日に行われたCPMSセンター並びにクロザリル適正使用委員会のホームページのリニューアルに伴いURLが変更されていますので、ご注意ください。

サイト名	URL
eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス)*	https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/login/LogoutPage/logout.do
CPMSセンター ホームページ*	https://www.cpms.novartis.co.jp/
CPMS検査日変更に関する事前報告書*	https://www.cpms.novartis.co.jp/interval_download
eCPMS FAQ*	https://www.cpms.novartis.co.jp/faq
CPMSニュース*	https://www.cpms.novartis.co.jp/news
サポート資材*	https://www.cpms.novartis.co.jp/support
CPMSセンター 資材発注フォーム*	https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=qcr-pegio-463054dceb1e838661afd82fcd425463
クロザリル適正使用委員会	https://www.clozaril-tekisei.jp/
クロザリルに関する各種資材・様式	https://www.clozaril-tekisei.jp/materials
CPMS登録情報の変更*	https://www.clozaril-tekisei.jp/change-registration-information
クロザリル錠	
ご使用の患者さん	https://www.okusuri.novartis.co.jp/clozaril
医療関係者の皆さま	https://drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/clozaril/

※ Web site内に掲載されているPDF様式は直接文字入力が可能です。

※ *マークがついているものはCPMS登録医療従事者にのみお知らせしているWeb site・Webページです。

CPMS 運用手順を改訂いたしました (CPMS 運用手順 第9.0版 改訂)

このたび、CPMS 運用手順を第9.0版へ改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。

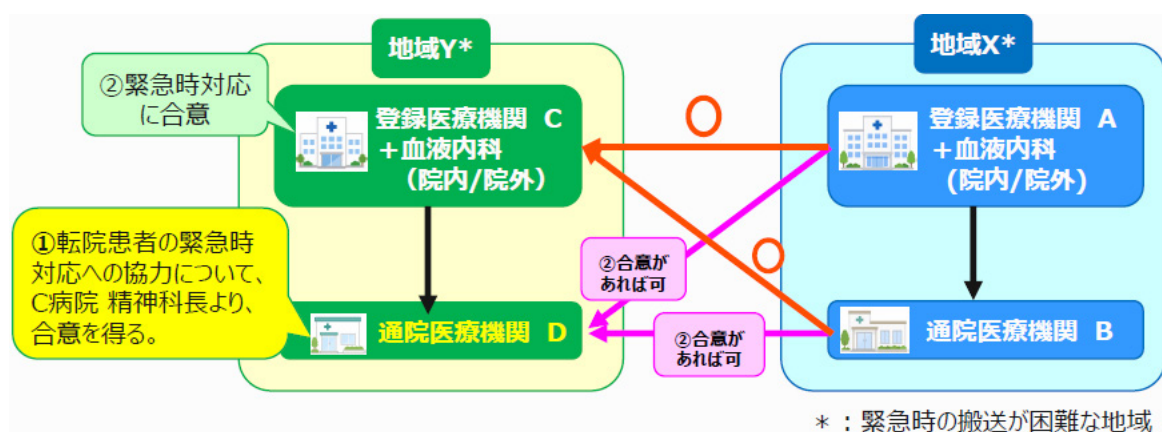
今回の改訂により、患者さんの安全性確保を維持しつつ、一定の条件(※)を満たす場合に限り、これまで制限されていたCPMS登録通院医療機関への以下の転院について、条件付きで可能となりました。

改訂内容につきご理解賜りますとともに、引き続きCPMS運用手順の遵守にご協力いただきますようお願いいたします。

【条件(※)を満たす場合、可能となる転院例】

- CPMS登録通院医療機関からCPMS登録通院医療機関への転院
(例：図1における通院医療機関Bから通院医療機関Dへの転院)
- 緊急時に搬送が困難な地域に位置するCPMS登録医療機関からCPMS登録通院医療機関への転院
(例：図1における登録医療機関Aから通院医療機関Dへの転院)

図1



【※条件】

転院を受け入れる登録通院医療機関が、あらかじめ連携しているCPMS登録医療機関より、当該患者さんに好中球減少症・無顆粒球症等が発生した場合に、緊急搬送等の対応に協力いただける旨の合意を得ている場合。

(例：図1において、通院医療機関Dが、連携している登録医療機関Cより、緊急搬送等の対応に協力いただける旨の合意を得ている場合)

「登録通院医療機関への転院にかかる事前報告書」の提出のお願い

そのため、上記状況に該当する患者さんの転院を受け入れる場合は、登録通院医療機関におかれましては「登録通院医療機関への転院にかかる事前報告書」へ必要事項をご記入の上、患者さんの転院前に、CPMSセンターへご提出（メールまたはFAX）いただきますようお願いいたします。

【主な改訂項目】

- 5.1.1.2 CPMS登録通院医療機関の登録要件(P.20)
- 14.1.2 転院先の医療機関での業務(P.70)
- 14.3 その他(P.72)

本件に関して、ご不明な点等がございましたら、ノバルティスファーマのクロザリル デジタルコミュニケーターへのメール連絡、または、クロザリル適正使用委員会 Web site のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。
 なお、二次元コードからもアクセスいただけます。

【お問い合わせ先】

クロザリル デジタルコミュニケーター (クロザリルとCPMSについて、幅広いニーズに対応いたします)	クロザリル適正使用委員会
clozaril.remote@novartis.com	お問い合わせ (Direct link)
	

※読み取りにくい場合は二次元コードを拡大しお試しください。

ご注意ください — CPMS 規定不遵守例 —

2026年1月1日から2026年5月31日までに報告があった事例を紹介させていただきます。

※クロザリル適正使用委員会との協議により、2013年まで累積数にて報告してきたCPMS規定違反数について、2014年から単年度ごとの報告とすることになりました。

登録数

登録医療機関数：711施設 登録患者数：26,917人

CPMS 規定違反・警告内容

【検査未実施：11件】

規定の間隔以内に検査を実施しなかった。

【報告遅延：309件】

検査は実施していたが報告が遅れてしまった。

【血糖モニタリングの警告：5件】

血糖・HbA1c未実施。

【その他：2件】

報告遅延を防ぐために

ポイント①

血液検査結果は、採血当日中(24時まで)にeCPMSで報告書を作成し送信してください。規定通りの検査間隔で検査を行っていても、検査実施日より後の日に報告を行った場合は、報告遅延となりますのでご注意ください。

- 採血日＝検査実施日＝報告書送信日 となるようにしてください。
 - 処方検査実施日より後の日に行う場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
 - 次回検査期限より前に検査を行った場合も、血液検査結果は検査実施日当日中に報告書に入力し送信してください。
- CPMS規定による検査以外にイレギュラーに検査を行った場合の報告については、特に必須ではありませんが、送信する場合は検査実施日当日中にお願います。
- 初回報告書のみ、投与開始日の10日前までの検査結果を使用することができます。

ポイント②

eCPMSによる検査報告は、処方ごとではなく規定の検査ごとに行ってください。

- 検査実施日ではない日にクロザリルの増量を行うなど処方に変更があった場合は、eCPMSで報告する必要はありません。
- 今回の検査実施日から次回検査予定日までの間に処方変更の予定がある場合、処方欄の「今回の投与量」には、今回の処方の初日の用量をご入力ください。
- 投与中止(血液検査結果以外の理由)・休業後も、4週間はそれまでの検査間隔でフォローアップ検査と報告が必要です。

eCPMSにおけるCPMS規定違反数の表示について

クロザリル適正使用委員会との協議により、2011年より注意喚起のためにeCPMSに表示されるCPMS規定違反数の表示時期が変更されました。表示が消えても違反数にはカウントされ、厚生労働省等の規制当局やクロザリル適正使用委員会への報告対象となります。患者さんの安全性確保のため、引き続きCPMS規定の遵守をよろしくお願いいたします。

CPMS サポート資材の発注・ご意見・ご要望・CPMS ニュース表紙の灯台写真を受付中です

【CPMS サポート資材発注方法】

- ① Webフォームで発注：「[こちら](#)」をクリック
 - ② E-mailで発注：「医療機関名・所属科名・氏名・希望の資材名・部数」を記入し cpms.japan@novartis.com に送付
- ※資材一覧は「[こちら](#)」をクリック(CPMSセンターWeb site「CPMS サポート資材」をご参照ください。)

【ご意見・ご要望・灯台写真】

上記E-mail(CPMSセンター)宛にお送りください。お送りいただいた灯台写真を紙面に使用させていただく際には、ご連絡させていただきます。お送りいただいた写真が規格に合わない場合は使用させていただくことができませんが、ご了承ください。

登録医療機関

711施設

2026年5月31日現在

公表医療機関

683施設

2026年6月4日現在

患者登録済み

641施設

2026年6月4日現在

登録患者

26,917人

2026年5月31日現在

登録医療従事者

29,881人

2026年6月4日現在

※「登録医療機関」および「登録患者」はCPMSセンターの集計、その他はクロザリル適正使用委員会Web siteより引用しています。

<https://www.clozaril-tekisei.jp/registered-medical-institutions>



CPMS

ノバルティス ファーマ株式会社 CPMSセンター

〒105-6333 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー

お問い合わせ先：0120-977-327 (9:00~17:45 土・日・祝日、当社休日を除く)

※内容を正確に把握し、回答および対応の質の維持・向上のため通話を録音させていただきます。

eCPMS (PostMaNetモニタリングサービス) : <https://m3.perceive-edc.jp/postmanetm/>

CPMS00010PU(0067)

2026年7月作成